

私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会
2021年度第1回定例幹事会議事録

1. 開催日時：2021年6月8日（火） 10：00 ～ 11：00
2. 開催形態：WEB会議
3. 参加館 7 館9名

*資料修正：（正）参加館7館9名 （誤）参加館7館7名
参加確認を兼ね自己紹介が行われた。

地区別・職務上 内規第3条による	大 学 名	役 職 名	氏 名
福岡北部	西日本工業大学	図書館長	中島 潤二
		学務課 図書担当主査	中田 輝美
福岡南部	福岡歯科大学	課長	亀井 愛
九州中部	長崎総合科学大学	図書課長	山川 邦子
九州南部	南九州大学	学務部長（兼図書課長）	赤木 裕美
九州地区理事校	福岡工業大学	事務部長	中島 良二
		司書	河野 真奈美
内規第3条第3号 による出席 [研究会幹事校]	九州女子大学	図書館長	田中 雄二
		副主幹	築地 恵子
内規第3条第2号 による出席 [前理事校]	福岡工業大学	兼 務	兼 務

4. 議事

WEB会議のため九州地区理事校である福岡工業大学が司会進行を行った。
また、議事進行のため録画することが了承された。

(1) 協議事項

① 2021 年度九州地区研究会実施要領(案)について

九州女子大学（田中）より、資料1(p.2)に基づき説明がなされた。新型コロナウイルス感染症の影響により、開催形式は資料配信によるメール会議、統一テーマ、講演中止、事例報告4件、スケジュール等の提案がなされ、全構成大学より承認された。

② 2021 年度九州地区研究会の予算(案)について

九州女子大学（田中）より資料2(p.3)に基づき予算について提案がなされ、全構成大学より原案通り承認された。

③ 次年度の九州地区協議会(総会)での講演者推薦依頼について

福岡工業大学（中島）より資料3(p.4)に基づき説明がなされ、講演会実施について意見交換がなされた。その結果、総会を対面形式で実施する場合は、講演会も実施する方向で進めていくことが承認された。

④ その他

特に意見はなかった。

(2) 確認事項

① 私図協2020年度西地区部会第2回役員会議事録について

福岡工業大学（中島）より資料4(pp.5-10)に基づき説明がなされ確認された。

「協議事項5 西地区部会の組織・活動のスリム化に向けて」についてのなかで、福岡工業大学より、コロナ禍で2020年度予算の消化がなされていないなか、2021年度も同額の会費を納入するのかを質問し、部会長校より同額徴収の回答を得たことの報告がなされた。

また、後ほど「(3) その他①九州地区協議会役員校等ローテーションについて」と合わせて意見交換の提案がなされた。

(3) その他

① 九州地区協議会役員校等ローテーションについて

福岡工業大学（中島）より参考資料1(p.13)に基づき、ローテーション表において、2019年度版を凍結しており、定員数・職員数が現状と異なっているため、表の改訂を検討している。西地区部会のスリム化検討委員会では、収容定員数を基礎にすることを検討されているが、各館の意見を聞かせてほしい旨説明がなされた。意見交換の結果、学生収容定員数だけではなく、専任職員数も考慮してほしいなどの意見が出された。意見交換の結果を踏まえ、ローテーション表の原案作成・提示をしていく予定であることが確認された。

② 地区別加盟校名簿について

福岡工業大学（中島）より参考資料2(p.14)に基づき、4グループの加盟校数に差があるため、各館の意見を聞かせてほしい旨説明がなされ、グループ分けについて意見交換がなされた。

当番が回ってくれば担当することは各かではないが、当番回数の均等化、ローテーション表の組み換え、現在4グループに分かれているが3グループに組み替える、加盟館の少ないAとDを統合する、などの意見が出された。

③ 2025年度以降の理事校について

福岡工業大学（中島）より、次期理事校は久留米大学であることが報告された。

しかし、その後は未定なためローテーション表も考慮して規模の大きい大学より打診していく旨報告がなされた。

④ 九州地区研究会について

福岡工業大学（中島）より、スリム化検討委員会では、各協議会での業務簡素化を求められており、九州地区研究会のあり方について、研究会の簡素化もしくは、九州地区研究会をなくすなどにより、加盟館のローテーション負担のスリム化を図ることについて、提案がなされ意見交換がなされた。

研究会を西地区部会とまとめて、回数を減らす分はありがたいが、スタッフの育成・交流面を考慮すると九州地区研究会開催がなくなることは困る。

九州地区での研究会がなくなると、参加の機会がなくなるため、無くさないで欲しい。九州地区研究会の必要性は強く感じているので、形を変えて座談会風で負担がかからないよう少し気軽な会にしてはどうか。

各館図書館の現状として、業務委託化や専任職員数の減少など研究会の当番が厳しくなっている。研究会という形ではなくエピソードなどを話し合ったり、発表しあったりする形でも良いのでは、などの意見が出された。

出された意見を基に、原案を提示することが確認された。

議題終了後、各館より全体を通しての意見などを述べていただき、閉会した。

以上